



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム亀寿の郷増築棟	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	------------------	-----	---	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5	ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7	/5	がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1	/5	ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③ glare対策/④部品・部材の耐用年数) ②風除室でU値 2.5以上、居室でU値 1.25以上を確保 ③カーテンと庇を併用 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 ((⑤)生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地以内に中高木等の植栽を設置 	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦[BPI]m=0.81 ⑧[BE][BE]m=0.75 	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬S造を採用し、躯体と仕上・設備配管・配線等、工種別の解体が容易 ⑬硬質ウレタンフォーム吹付材にノンフロンを使用予定 	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 1.2.1 2 2.1 2.1.1 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 ((⑭)地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 ((⑯)耐震・免震/⑰信頼性) ⑰標準的な維持管理しようではあるが、利用者の使いやすさ・メンテナンスしやすさを考慮した計画 	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 ((⑱)機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳天井高さ2.5m以上確保 	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱ ⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 ((㉑)地域性・アメニティへの配慮) ㉑地域開放のグラウンドを整備 	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 ((㉒)生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地以内に中高木等の植栽を設置 	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑤ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 ((⑮)温熱環境悪化の改善) 	LR-3 2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム亀寿の郷増築	階数	地上3F
建設地	静岡県藤枝市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年6月28日
敷地面積	5,738 m ²	作成者	中野実穂
建築面積	776 m ²	確認日	
延床面積	2,208 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・これはCASBEE静岡(2016年版)による評価	・特になし	
Q1 室内環境 ・内装材・内装塗装材は全てF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 ・天井高さは2.5m以上を確保 ・発電機を設置し、停電時に厨房の冷凍冷蔵庫・各共同生活室に電気を供給	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地以内に中高木等の植栽を設置 ・地域開放のグラウンドを整備
LR1 エネルギー ・LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮	LR2 資源・マテリアル ・S造を採用し、躯体と仕上・設備配管・配線等、工種別の解体が容易	LR3 敷地外環境 ・駐輪場・駐車場の台数の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された